

■羅生門 言語活動ワークシート

「 「年」 「組」 「番」 「 検印」 「

1 この作品の結末部分は、当初「下人は、すでに、雨を冒して、京都の町へ強盗を働きに急ぎつつあった」と書かれていたが、後に「下人の行方は、誰も知らない」と書き換えられた。このことによって読者の印象はどのように変わるか。話し合ってみよう。

① 「下人は、すでに、雨を冒して、京都の町へ強盗を働きに急ぎつつあった」という描写と、「下人の行方は、誰も知らない」という描写とは、「下人」のその後にどのような違いが出るか。

② ①で考察した「下人」の描かれ方の違いは、読者の側に立てば、どのような印象の違いが生まれるか。

2 「下人」はこの後どうしただろうか。自分の考えを文章にまとめてみよう。

① 「学習2」を用いて、「下人」の人物像をまとめる。

② 「下人」の人物像や、「言語活動1」で考察した作品末尾の改稿を踏まえて、「下人」のその後について、自分の考えをまとめる。

「 年 」 「 組 」 「 番 」 「 検印 」 「

1 「羅城門の上層に登りて死人を見る盗人の語」は、『羅生門』のあらすじの素材となった話である。これを踏まえて、次の(1)・(2)を考えてみよう。

(1) 「羅城門の上層に登りて死人を見る盗人の語」には、「発問1・2」で確認した『羅生門』との相違がある。これらの相違は、『羅生門』にどのような効果をもたらしているか。

① 「発問1」で確認した『羅生門』との違いは、どのようなものだったか。

② 「発問1」で確認した違いは、『羅生門』にどのような効果をもたらしているか。

③ 「発問2」で確認した『羅生門』との違いは、どのようなものだったか。

④ 「発問2」で確認した違いは、『羅生門』にどのような効果をもたらしているか。

(2) 「発問1・2」で確認した以外で『羅生門』と異なる点を、一覧にして書き出してみよう。

① 次の観点から検討する。

【時間帯】

【天候】

【羅城門（羅生門）付近の様子】

【男（下人）が羅城門（羅生門）に登った理由】

【嫗（老婆）が死人の髪を抜く様子】

【男（下人）が嫗（老婆）を襲った理由】

【嫗（老婆）に髪を抜かれる女の境遇】

【男（下人）に襲われたときの嫗（老婆）の様子】

【物語末尾の描かれ方】

2

「太刀帯の陣に魚を売る嫗の語」について、次の(1)・(2)を考えてみよう。

(1) 「太刀帯の陣に魚を売る嫗の語」は、どのような形で『羅生門』に組み込まれているか。

① 「太刀帯の陣に魚を売る嫗の語」を現代語訳し、その内容をまとめる。

② 『羅生門』において、「太刀帯の陣に魚を売る嫗の語」の内容が組み込まれている箇所を指摘する。

(2) 「太刀帯の陣に魚を売る嫗の語」を取り入れることによって、『羅生門』にどのような効果をもたらしているか。

① 「羅城門の上層に登りて死人を見る盗人の語」と『羅生門』とでは、「嫗（老婆）」に髪を抜かれる女の境遇がどのように違うかを指摘する。

② ①で考察した違いは、『羅生門』にどのような効果をもたらしているかを考える。

■言語活動の実践 翻案作品と原作を比較する 言語活動ワークシート

「 「年」 「組」 「番」 「 検印」 「

1 図書館やインターネットを利用して、どのような翻案作品があるかを調べ、それらの翻案作品では原作からどのような改変が加えられているかをまとめてみよう。

① 教科書に掲載された「翻案作品の事例1～3」を参照しつつ、「近現代作品」「古典作品」「別種のメディアに展開された作品」の翻案作品には、それぞれどのようなものがあるかを図書館やインターネットで調べる。

近現代作品

古典作品

別種のメディアに展開された作品

② ①で調べた作品の中から、原作と比較をする翻案作品を決める。

③ 次の観点から、原作と翻案作品の相違点をまとめる。

登場人物

視点人物

あらすじ

その他